

高浜虚子は一般的には「客観写生」とか「花鳥風諷詠」が専売特許のように思われているが虚子の俳句は実に多彩である。滑稽句についても佐藤紅緑は子規より虚子の滑稽句をほめているのだ。

ここに虚子の滑稽ベスト20を年代順にあげてみた。
そして 面白い度合いを★の数で表示してみた。

★★★★★

蓑蟲の父よと鳴きて母もなし

/ホトトギス 明治32年10月

地口のうまさ

★

鶯や文字も知らずに歌心

/春夏秋冬 春 明治32年

実は鶯の鳴き方をほめている

★

後家が打つ艶な砧に惚れて過ぐ

/新春夏秋冬 秋 明治39年9月

色目をつかったが反応なし

★★★★★

老僧の骨刺しに来る藪蚊かな

/ホトトギス 明治40年5月

血液なんかないのに蚊のお馬鹿さん

★★

ばばかと書かれし壁の干菜かな

/ホトトギス大正14年8月

落書きをそのままにしてあるおかしさ

★★★

競べ馬一騎遊びてはじまらず

/大正14年9月

草競馬の可笑しさ

★★★★★

外套と帽子と掛けて吾のごと

/ホトトギス昭和8年10月

一見シュールな風景の可笑しさ

★★

風邪引の鼻のつまりし美人かな

/ホトトギス昭和8年12月

美人の定義を裏切る可笑しさ

★

息白く喧嘩してをる夫婦かな

/ホトトギス昭和9年12月

息白しは夫婦喧嘩にや使わんだろ

★

黒揚羽花魁草にかけり来る

/ホトトギス 昭和10年7月

黒揚羽はプレイボーイなんだね

★

一を知って二を知らぬなり卒業す

/ホトトギス昭和10年3月

学業とはそんなもの

★★★★★

欠伸せる口中に入る秋の山

/トトギス昭和28年10月

誇張もここまできると可笑しい

★★

髪洗ふ女百態その一つ

/ホトトギス昭和31年7月

あとの99態を逞しく想像させるか

★★★

香水の香にも争ふ心あり

/ホトトギス昭和34年8月

香が争うと表現して可笑しい
ホントは女の見得の争いなのに

★ ★

客去れば庭に現れ草刈女

/ホトトギス昭和34年8月

草刈女に見られていたとは

★ ★ ★

紙魚のあとひさしのひの字しの字かな

/ホトトギス昭和21年5月

ひさしくひらいたことのない書物

★ ★ ★

敵といふ字寒といふ字を身にひたと

/ホトトギス昭和21年6月

これを自在な洒落というのだろうか

★ ★

年の暮日を間違へて一日損

/ホトトギス昭和21年12月

正直が可笑しい

★

裸子をひつさげ歩く温泉の廊下

/ホトトギス昭和22年8月

子どもを物体のごとく扱う可笑しさ

★

大小の欠伸の圓や梅雨眠し

/ホトトギス昭和25年7月

大人は大円 子どもは小円 であるが
縮めて欠伸の圓として可笑しい

★ ★ ★ ★ ★

乳いぢる癖の女や懐手

/ホトトギス昭和26年2月

虚子はレントゲンのような眼を持っていた

★ ★

熱爛に泣をる上戸ほつておけ

/ホトトギス昭和26年12月

風景として可笑しいが「泣き上戸」と一座が認識している
可笑しさ